

令和5年勝浦町マラソン議会（9月会議）会議録第5日目

1 招集年月日 令和5年9月21日

1 招集場所 勝浦町役場議場

1 開閉日時及び宣告

開議 9月21日 午前9時30分 議長 松田貴志

散会 9月21日 午前11時06分 議長 松田貴志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	内谷安宏	2番	福井裕美
3番	長尾隆資	4番	玉置守
5番	瀬戸直一	6番	花房勝一
7番	美馬友子	8番	松田貴志
9番	筈公一	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

2番 福井裕美 7番 美馬友子

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	山田徹
教育長	市川公雄	政策監	佐藤健司
総務防災課長	中瀬弘晴	企画交流課長	寺尾由美
税務課長	藤井小百合	住民課長	後藤信之
福祉課長	長友清美	農業振興課長	上村和也
建設課長	海川好史	上下水道課長	大上誉司
会計管理者	正瑞美佳子	教育委員会事務局長	石木正昭
勝浦病院事務局長	笠木義弘		

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第5号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 認定第1号 令和4年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について

日程第3 議案第1号 令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第5号）について

日程第4 議案第2号 令和5年度勝浦町介護保険特別会計補正予算（第1号）について

日程第5 議案第3号 令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第6号）について

日程第6 同意第1号 勝浦町固定資産評価審査委員会委員の任命について

日程第7 議員派遣について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第7まで（第5号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（松田貴志君） ただいまから令和5年勝浦町マラソン議会9月会議を開きます。

本日の日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第1，諸般の報告を議題とします。

9月20日，議会運営委員会所管事務調査のため，上勝町議会9月定例会の傍聴に内谷議員，福井議員，長尾議員，花房議員，瀬戸議員，筈議員，井出議員が出席しました。

監査委員から例月出納検査結果について報告書がお手元へ配付のとおり提出されていますので，ご報告しておきます。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に，日程第2，認定第1号，令和4年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これより第二読会を開きます。

第二読会における議員間の自由討議を省略したいと思います，これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。

それでは，これより総括質疑を行います。

認定第1号について質疑はありませんか。

花房議員。

○6番（花房勝一君） 認定第1号，令和4年度勝浦町一般会計決算認定について，3点ほど質問させていただきます。

まず，福祉課，個別避難計画作成事業についての質問です。

この事業は，事業概要の中にもあるように避難計画を作成し，名簿と計画を避難支援者関係に提供し，災害が起きたときの地域での避難支援や平常時の見守りに役立てるとなっております。この提供の部分が，この前の説明会でも聞いたんですけど，一

部の地域にしかできていないということで、この点がちょっとおかしいのではないか  
と疑問があります。

また、さらに昨日の上勝町議会に一般質問の傍聴に行かせていただいたとき、上勝町では今月行われた避難訓練のときにはその情報を各機関、消防、警察、民生委員に提供して避難訓練を行ったということを言うておられましたので、そこら辺は本町ではどうなっておるのかというのが1点と、昨年度が62件であったということで、目標が昨年度の予算審議の60件であって、その目標は達成されておるんでありますが、本年度の取組などはどうなっておるのか質問させていただきます。

続きまして、農業振興課、6次産業推進事業についてです。

かんきつテラスの件です。これも事業概要の中で5団体程度もしくは個人程度とあるが、実績は令和4年1団体、5年度を含めても2つということで、これも大きな予算をつぎ込んだ割にうまくいってないと思います。この実績についてのお考えと今後の取組についてお伺いいたします。

3点目、教育委員会、部活動の適正な在り方検討委員会についての、令和4年度は不用額になって会をやっていないということでありました。まずはこのやっていない理由、それと県のガイドラインが今年の春にできて今年度から取り組み、令和5年度から7年度までの3年間の取組ということで、県のガイドラインも見ましたが、かなり自治体の役目が大きいと考えます。今後の取組についてお伺いいたします。

以上、3点お願いします。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 個別避難計画についてのご質問ですが、令和4年度から計画を作成しまして、今の計画作成数は3月末で62件完成しております。そのうちの25件が棚野区でありました。そちらのほうの避難計画に関しましては、7月に区長に提供したところでございます。

あと、ほかの地区に関しましては、中山が9件、坂本、生名が5件、与川内、久国が4件、あとの地区に関しましては2件であったり、まだゼロ件というところもございます。名簿に登録されているのが129名ございますが、こちらの名簿の登載だけでは実際の避難についてのルートや支援方法などが具体的に記載できておりませんので、今個別避難計画というものを作成しております。そちらの計画が整い次第、また

皆様には情報提供をしていきたいと考えております。

また、今年度の取組ということですが、今年度も昨年同様60件を一応目標としていく予定でございます。

以上です。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 6次化についてのご質問ですが、4年度の実績につきましては、先ほど申されましたとおり利用者数が1件で、5年度については1件プラスで2件の実績があります。今後6年度に向けての取組になりますが、4年度につきましては3年から4年に試作品製造施設から営業許可施設に変わったという方針転換がありまして、実績が少なかったのかなと考えております。

今後につきましては周知、宣伝、PRして、広報とかホームページで周知していきたいと考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） おはようございます。

説明書の6ページに記載の部活動の適正な在り方検討委員会に関しましてのご質問ということでございます。

令和4年度のこちらの取組なんですけど、先ほど議員もおっしゃられたように、実は徳島県における中学校の部活動の地域移行に向けての手引き、こちらのほうをほぼ1年間作成にかかったというところがございます。こちらのほうですが、県教委のほうから素案を示していただいて、それを基に教育長、私、担当者レベルで会を重ねてつくってきたという経過があります。4年度につきましてはそういったところを取り組みましたということで、予算、それから行程取りながら会議のほうは開けてないという経過でございます。

今後の予定でございます。早ければ、実はこの中学校、この春4月からの全員部活制、やめたという経緯がございます。そういった変更ということで、その後どうなったかなということなんですけど、うかがい知るところによりますと、部活動、基本的な部はある程度残ってるというところを確認しております。そういったの実情を踏まえまして、早ければ10月にでも中学校とこの地域移行に向けての考え方というか、また

協議ということをしていただいて、当然の検討委員会、人選ということになります。そうした協議の中で委員として必要な方、お声がけするということで、またそういった選任の作業、そういったところをできるだけ早く進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○6番（花房勝一君） まず福祉課ですが、これから新たな個別避難計画作成中であるということなんですけど、この提供に関してのところは僕はできてないっていうことを質問したんで、それに関してもその計画でつくられるのかどうか、要望して出してくれるっていうんはちょっと違うなど、やっぱり各地域で、坂本9名、生名5名とかおられるのであれば、その情報は各地域、ほの支援できる方に提供をするべきだと考えます。この点をもう一度お願いしたいと思います。

それと、かんきつテラスですが、ルールを変えたから少ないということであったんですが、確かに1年目ということで、その考えがちょっと違うような気がするんですが、少なかったから変えたのではないかなと、ほういう方針であったと思うので、確かに周知、PRというんが全然できてないからないっていうふうに思いますので、そこはもう少し徹底してやっていただきたいと思います。

それと、教育委員会については10月に協議をなされるということで、本年度から部活動、全員入らなくていいようになったという、これも僕の考えではもうマイナスにしか考えれないところで、もちろん教員の働き方改革ということで、希望しない先生はもう土日しなくていいということになるので、そこいらは本当にそれでいいのかしっかり話しして、今の町の持っているいろんな指導者的な人もおいでるので、そこいらもしっかりと協議をして、学校を一番に話ししていただくんですが、町のほかのスポーツ関係団体とも話をしていただきたいなと思いますが、この点についてもう一度お願いします。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 実際に登録をできている方については本人さんからの同意も得ておりますので、提供は可能かと思えます。また、災害時だけでなく、見守りという面においても必要ということで感じておりますので、また提供に関してはちょ

っと前向きに進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 議員もおっしゃったように町のスポーツ関係者、ここの当然総合型スポーツクラブK-F r i e n d sというところもまず欠かせないと思っております。実は校長会、毎月1回、小・中の校長会、3人の校長先生寄って教育長室で話ししてありますが、1回そこにK-F r i e n d sの関係者の方来てこういう話をしております。ちょっとキックオフみたいな格好になるんですけど、そういう経過もありますので、連携は取れていけるかなと思っております。今後も協議を重ねて、必要な連携を取っていきたいと考えております。

また、K-F r i e n d s以外のスポーツの関係者の皆さん、ちょっとこれはあんまり言えんのですが、例えばスポーツ少年団の指導者の方とか、教育委員会のほうでスポーツの関係者の方の情報は当然持っておりますので、そこらもまた今後検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

内谷議員。

○1番（内谷安宏君） おはようございます。

私のほうから1点だけお伺いしたいと思います。

農業振興課の内容なんですけれども、マネジメントシートに書かれてます市場販売戦略展開事業の内容についてなんですけれども、第一読会で話した内容の確認となりますが、大阪に熟成みかんの広告を提示しまして、第一読会のときにその広告を出した効果というものを何かしらありますかとお尋ねしましたが、そういうデータは数字としては取れていないと。令和4年だけの話かと思ったら、2年、3年、4年と3年続けて広告を出していますが、その広告の効果っていうのを調べられない状態という非常にもったいない状況になっていることが分かりました。今後、次に横浜のほうに同じような広告を出すと伺っていますので、その際にはその広告の効果が確認できるような計画を事前にしていただいで進めていくということでもよろしかったでしょうかというのを伺いしたいです。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 今までのデータがなかったということで、横浜に向いてはデジタルの、携帯のクリック数とかの確認になるんですけど、ほこら辺でデータの確認というか、取っていきたいと考えております。

○議長（松田貴志君） 内谷議員。

○1番（内谷安宏君） 確認してください。そのクリックした数によって、どのようなデータが拾えるかというのもしっかり計画して進めていただけたらと思います。

以上です。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 令和4年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定について質疑をさせていただきます。

まず初めに、政策監に伺います。

勝浦病院の決算審査を行った結果、どう感じ、今後どのように生かすかについてをお聞きしたいと思います。

勝浦病院は、地域医療の確保のため重要な役割を果たしております。また、地域包括ケアシステムを支える唯一の病院でもあり、勝浦には大変重要な病院だと思っております。経営状況は、収益より医療費用が上回り厳しく、課題は事務局長が何度も言っておりますが、医師確保と入院患者の減でございます。ベッド数50床に対し、1日の入院患者の平均が30.6人、病床利用率は長期入院患者もいる中で61.3%ととても低いです。目指せ70%といつも言っておりますが、また人件費も91.3%と高い、民間では80%程度を基本にと考えております。

そこで、政策監は病院局とか福祉的経営事業に関する事業などを担当されていたと聞いておりますが、勝浦病院運営について、また遅れている計画策定や、特に医師確保についてですが、医師不足により勤務環境が改善されにくい体制が勝浦病院は続いております。働き方改革も含め、今後医師確保はさらに重要と考えます。これまでの業務の経験や実績を生かされ、ネットワークの広さから医師確保について、またどのような視点でこの勝浦病院の決算を評価されているでしょうか、この点をお聞きしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 佐藤政策監。

○政策監（佐藤健司君） おはようございます。

今医師確保と決算の評価という2点の視点で質問をいただきましたので、ご回答させていただきます。

まず、勝浦病院でございますけれども、議員おっしゃるとおり地域医療に重要な役割果たしておりまして、勝浦にとって必要な重要な病院と認識しております。

医師確保でございますけれども、実は全国的に不足しておりまして、県においても医師の高齢化とか、あとは東部地域に偏在しておったりとか、産科とか小児科では不足する診療科偏在がございます。県でも自治医科大学とか、あと徳島大学医学部の地域枠医師で非常に努力はしてるんですけども、確保はなかなか厳しい状況がございます。

勝浦町においても、紹介業者からの情報提供とか医師会との連携、また地域医療を考える会に徳島大学医学部の学生さんとの交流会もしていただいているところで、病院独自の取組とともにへき地拠点病院である勝浦病院も県からの医師派遣の支援とか、県と連携して医師確保に取り組んでいるところでございます。

現在医師確保とか、または医師確保だけじゃなくて遠隔医療、医師がいなくても診療ができるような医療のDXの取組なんかを、なかなか勝浦病院単独というわけではなくて、徳島大学病院とか県立病院などの自治体病院とか、あと日赤と県内の公的病院で編成する徳島医療コンソーシアム推進協議会で議論をしてるところでございます。ちょっとお答えとはずれるか分かりませんが、今後も県と連携した地域の命と健康を守るための取組、医師確保に対する取組を進めていきたいと考えておりますが、なかなかちょっと、すみません、特効薬っていうのはないというところがございます。

それに連携いたしまして、運営というところでございます。決算の評価というのではなくて、ちょっとその運営とか経営という面でいたしますと、すみません、ちょっと長くなってしまいうんですけれども、この4月に政策監を勝浦町で拝命して以来、毎月勝浦病院の院内会議に出席させていただいております。この中で、実は感心したことの一つが、退院サマリーというのがございます。この退院サマリーなんですけれども、これは患者さんが入院している最中の医療の内容とか診療内容を要約したものでございまして、退院後、この一定期間に作成して管理者の承認を得ることというのがその

医療機関の医療の質を反映したというふうに言われております。これちょっと徳島大学病院、これはホームページになるんですけど、ホームページに掲載されてる数字です、公表されてる数字を見ると退院2週間以内の承認率が、平成30年度で96.3%、令和元年では96.1%、令和2年度で99%となっております。勝浦病院では、大体1週間以内に出ていないのが1件ぐらいで、もうほとんど出ていると、2週間以内にほぼ100%を達成しているという、これすごい数字だと私は思っております。あとまた7月に患者として風疹の抗体検査にちょっと行かせていただいたんですけども、受付をはじめスタッフの方がすごい対応がよくて、採血も痛くなくて、これは病院としてすごいなというふうに改めて認識したところでございます。

運営をよくするためには、病院のその能力を十二分に発揮していただくことが重要なんではないかと思っております、例えば他病院とか老人福祉施設と連携強化を図って、老人福祉施設も含めて在宅可能な方には速やかに在宅に移行していただいて、できるだけ多くの入院が必要な方に病院としての医療を提供すると、このことによって、結果として平均在院日数が短くなって、13対1の看護基準の取得も可能になるんじゃないかと考えております。また、発熱外来とかコロナによって、ちょっと聞いたんですけど、外来で初めて勝浦病院に来院する方とか久々に来院する方が増えておられます。これらの方に勝浦病院のよさを知っていただいたりとか、またイベントも今度されると聞いております、これで地域の方々にどんな検査ができるのかとかどんな医療を提供しているのかっていうのを知っていただいて身近に感じていただくと、これによってかかりつけ医として受診していただいて地域の方に的確な医療を提供すると、そのことによって経営も安定していくのではないかと認識しております。このためには、勝浦病院が能力を発揮して地域の方々に貢献するためには、地域医療を考える会をはじめ地域の方々の連携が非常に一番重要になってくると思いますので、皆様ご支援、ご協力のほどまたよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 地域と連携してっていうことをおっしゃいましたが、確かにそうです。ほんで、短期的にも接遇面でよかったって言われることをもつとつと、住民の方がよかったな、勝浦病院に行ってほんまにすごくサービスを受けれたなって

いう思いが伝わるように、信頼感が得られるように早くももっともってほしいなと、病院のよさを評価してほしいと思っております。

一番大事なんは、経営改善も必要です、働き方改革の対応のために、また何よりもやっぱり医師不足の対応は喫緊の課題だと私は思っております。不採算地区病院へ医師派遣の強化をもっともっと、県にも国にも要望を上げていただきたいと思っております。政策監もおっしゃいました、11月にはグランドオープンでございます。どうぞ勝浦病院のいい面をもっともっとPRしてほしいと思います。

それから、今後計画される経営強化プランでも効果的な経営改善となるよう、これからは病院の機能分化とか、本当に連携強化をさらに重視されるようなプランが立つと思っておりますが、住民から信頼される満足のいく医療、経営及び本当にサービスを住民の皆さんが期待をしております。新しくなった病院です、もっともっと県との連携とか職員指導等を引き継ぎ、政策監も、今もされていると思っておりますが、早くアクションを始めてほしいと思います。

それからまた、この決算の審議は翌年度の予算に連動するものと私は認識しております。総務防災課長や政策監、副町長でもお聞きしたいんですが、各課でも私は要望をお伝えさせていただいておりましたが、マネジメントシートの活用でございます。令和3年9月から事業説明資料として利用を始めました。もうとても分かりやすくなったと思っております。初めての今回決算でのマネジメントシートを使用されました。成果や効果、また見直した点、課題など評価の欄がなかったんですね。この評価をして、多分次の来年度の予算に向けて査定も行うと思うんで、このマネジメントシートで1年間通じて事業の評価、成果、それから説明資料も兼ねたマネジメントシートになればと期待しております。次に生かすために、特にこのマネジメントシートを活用してほしい、運用方法も見直してほしいなと考えております。また、各課すごく説明資料多いです、それを事業説明にして、各事業説明にして説明もつけたら、1枚であっち行ったりこっち行ったりっていうことがなくなるので、私たちも執行部も楽になるんじゃないかと思っております。この2つ、よろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） 佐藤政策監。

○政策監（佐藤健司君） 今県との医師確保についての取組のほうを進めるようにとご指摘いただきました。まさにおっしゃるとおりだと思いますので、また県のほうと

も連携してできるだけ医師確保、もしくはその医師が確保できなくても、診療等が進めるような対策なんかを県と連携して取り組んでまいりたいと考えてますのでよろしくをお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） おはようございます。

議員おっしゃるようにマネジメントシートの活用については、以前議員が議長のと  
き議運とかで諮って導入を試みたものでございます。これ総合戦略等にも有効に活用  
しておりますので、今後予算等の事業の査定とかそういったものにも生かしていきたい  
と考えておりますので、さらに内容については検討をしてよりよいものにしていき  
たいというふうに考えておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 2点ほどお尋ねします。

1点は、5番議員との関連でオレンジファクトリーの使用の問題ですが、先日も漬物の生産者が困っているってということで、漬物じゃなくてすぐ食べれるような総菜の形で、切ってパックに入れて総菜としてたくあんとか漬物を出すことは可能なのかを保健所等確認してもらって、よってネ市の生産者グループでその漬物が出せなくなった人のグループをつくってオレンジファクトリーを活用してもらってという方法が可能かどうか担当課で検討をしていただければ、よってネ市も一つのセールスポイントである漬物がなくなって困るっていう切実な声がありますので、漬物として出荷するのではなくて、すぐ食べれる総菜という形で出荷したらどうかということをまず一点保健所で確認してもらってということと、それとオレンジファクトリーができてすぐ私もジャムとかつくりに行ったんですが、絶対これは人件費等使用料を払えばマイナスになる、赤字になるからお金を稼げる施設ではないってことを実感した経験があります。だから、そういうふうなところを利用する場合は複数の人が利用して、できるだけ使用料を安く見積もって採算ベースに乗る形でなければならないので、人件費の計算とか原価計算をした上で町民に感謝される使用料の設定が求められると思います。だから、施設としては、ちょっと大規模生産には向かないんですが、よって

ネ市の生産者が、自宅で小規模にやってる人が使うにはいけるかなと。でも、その使用料を1人で負担するには採算が取れないっていう実態があるので、なかなか個人で契約ができないっていう、そういうことをいろいろ含めて、もっとよってネ市の生産者との連携とか、それから保健所で漬物をすぐ食べれる形に総菜として出荷ができるのか、あそこは多分菓子加工と総菜加工、販売の許可を取っていると思うので、そういうふうなもう一步踏み込んだきめの細かい対応をお願いしたいと思います。

もう一点は、合併浄化槽の補助金のことですが、4年度は1件しかなくて補助制度を見直したっていうことの説明を聞きましたが、一体どの部分を手厚くしたのかっていうのをここで再確認して、もっともっと町民に周知する必要があると思います。4年度の反省を受けて、これは5年度の予算に関わるんですけど、4年度が1件しかなかったっていう事実があって、じゃあどこを手厚くしたのかっていうのを確認したいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） オレンジファクトリーの漬物の製造の話になるんですけど、オレンジファクトリーについては総菜の製造の許可を受けております。ですので、漬物製造の許可ではないので今は、今というか、そのままでは難しいというのと、それと、保健所、1施設に1業種の許可が原則でありますので。

○10番（井出美智子君） 漬物としてするんじゃないかと。

○農業振興課長（上村和也君） 漬物をそこで製造するのは難しいのかなあとしますので、この漬物を切って総菜にとかっていうのはもう保健所との話になりますので、ここは保健所との協議が要るのかなと思いますので、そのものがいけるかどうかについてはまた保健所のほうとの協議が必要になると思います。

それから、使用料の単価になるんですけど、大量生産ができないのと、それとそのコストとか人件費、こちら辺については今決めよう料金で取りあえずは運用していつてますので、今すぐになかなか見直すのは、ちょっとこれから勉強していかなきゃ難しいのかなと思います。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 令和5年度で合併浄化槽のメニューで変更があった点の件でございますが、まず新規で宅内配管工事、上限30万円のメニューと耐震リフ

ホーム工事、こちらは上限5万円ですが、内容といたしましては、建設課で実施しております耐震化工事と一緒に事業を実施しますと、補助を上乗せいたします。また、単独槽の撤去の費用も、今年度3万円増額いたしました。

現在令和5年度では5件の申請を受けており、また3件ほどの問合せもいただいておりますので、引き続き事業のPRを行い、予算を執行していきたいと考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 漬物加工が難しいというこの前の説明を受けたので、漬物としてではなくて、みんなが持ってきて、家で保管した漬物をオレンジファクトリーでパックに、漬物を大根1本じゃなくってちゃんと食べれる形にしてパックに詰めて総菜として出荷するのが可能かどうかというの、役場が保健所に問合せを、担当課が許可をもらってほしいという強い希望です。

漬物としてじゃなくって、すぐ食べれる総菜として出荷するっていう保健所の許可が下りれば、よってネ市に出荷できなかった人が、ちょっと手間はかかるんですけど、今までつくってた、多分リピーターとか顧客がおるんで、その人の名前を買っていると思うので、維持できると思うので、保健所に問合せして、総菜として販売するにはどうしたらいいかという、実現できる方向で保健所と交渉してほしいというのが強い希望です。

それから、合併浄化槽がこんなに補助金が手厚くなっているっていうことは、住民にとっては大変ありがたいことなので、もっともっと周知を徹底してもらいたいと思います。あんまりようけ来ると、予算が足りなくなった場合はどうされるのでしょうか。

だけん、ちゃんと保健所で許可をもらってほしいっていうことと、順調に年度真ん中でそんだけあったら、周知徹底したら予算が足りなくなる心配をちょっと勝手にしているんですが、そんな場合は補正を組んで希望者全員に対応するっていうことで、それからひよっとしたら来年度に回してほしいということになるのでしょうか、合併浄化槽のこと、その2点です。

○議長（松田貴志君） 上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 保健所とまた相談して確認させていただきます。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） 要望額という話なんですけれども、もし必要であれば補正対応をさせていただきたいと考えております。その節はよろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

節議員。

○9番（節 公一君） 令和4年度一般会計決算について質疑を行いたいと思いますが、1点だけ総務防災課に尋ねますが、説明書の9ページで、自主防災の訓練補助金52万円の予算に対して不用額が8万円出てるということなんです。第一読会の説明では、補助金の支給に対してはこれ1回当たり4万円なんです。4万円以上の領収書が必要というような答弁があったんですが、そもそもこの補助金は、いわゆる物品購入に対する補助金なんか、そういう活動をしたら対象となるのか、そこらあたり要綱ではどうなっているのかを確認したいと思います。

例えば消火栓を使った防災訓練を行ったと、参加者に備蓄品の中で古く、期限が迫ってきたようなものを配った、費用は要らないわけですけども、それはこの補助の対象にはならないのかどうか、本来なら実施をした活動に対して支払われるべきと思うんですが、そこらあたりの確認をしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 自主防災組織の補助金についてのご質問であったかと思ひます。

まず、補助金でございますが、地方公共団体が支出するに当たっては規則、要綱等規程を作成し、透明性を高めてする必要があるというところでございます。自主防災組織補助金におきましても、勝浦町補助金交付規則、また自主防災組織訓練補助金交付要綱に基づいて交付をさせていただいているところでございます。

こちらのほう、事業の実施、そちらのほう申請主義となっておりますが、申請に基づいて事業費及び事務費等を申請いただいて、実績報告をいただいております。領収書の添付等までは実績報告では規定はしてはおりませんが、必要に応じてそろえておいていただく必要があろうかと思ひます。中には領収書が徴取できな



を使ったこととか、ロープの結び方をしたりとか、そういうのは大概はやっと思  
うんですが、いわゆる費用がそんなに係らんようなやり方をやっとうところもあるん  
ですよ。そういうことに対しては、だけどこれ、例えば4万円でのうても、ほな費  
用が2万円だったら2万円だけ払ったという、ほういう実績は今まであるんですか。  
だから、4万円かゼロかという話なんですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） ちょっと私が知る限りでは、4万円です。今まで大体全  
ての団体に払ってきたような経緯があったかと思えます。昨年度については、ちょっ  
とお話もさせていただいたんですが、費用的なものはかからなかったというところ  
で、そういった申請を見送るというお話でございましたので、そういった結果であっ  
たかと思えます。

こちらのほうは公費でございますので、残念ながら補助金という趣旨からしても経  
費が伴わなかったものについて、町として支出するのは難しいかなというふうには考  
えております。

○議長（松田貴志君） 小休します。

午前10時13分 休憩

午前10時15分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

長尾議員。

○3番（長尾隆資君） よろしくお願いいいたします。

井出議員と重複することもあるかと思いますが、上下水道課に1点だけ合併浄化  
槽のことでお尋ねいたします。

昨年度、令和4年度で上下水道の普及率が56.7%と聞いております。このパーセン  
トが間違い、私の記憶違いでないんかっていうのを確認と、ほれと今年度、5年度か  
ら浄化槽の、ほのいわゆる手厚い補助が出るということでまた進みそうなんです  
が、今年度、来年度、5年間で見直しておるということで、今年度と次年度、令和6年度  
で目標の20基ずつ増えれば、もっと上下水道の普及率っていうんは上がるかと思  
うんですけど、これは何%、100%っていうんはなかなか難しいかも分らん  
のんですが、来年で5年の見直し期間の最終年になって、ほこで何%までって  
いうような目標

とか、あとほの7年度からまた%になるまでまた5年間継続していくんかっていうようなことをお聞かせいただけたらと思います。

合併の浄化槽、これは非常に環境問題とかに貢献するし、私もささやかですが水田を、稲作をやっております。ほんなんで今まであんまり意識がなかったんですけど、上下水道の合併槽にしたらお風呂の水もトイレの水も用水に流れてこんのやな、田んぼにもお米にもいい影響が出るんじゃないかっていうような思いがありますので、また今年度と来年度で何%ぐらいまでっていうような目標があれば教えていただきたいのと、勝浦町として、先ほど言いました100%は難しいかも分かりませんが、何%まで目標で、また7年度から5年間また浄化槽の普及をPRしていくんか、その辺を上下水道課にお尋ねしたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（松田貴志君） 大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） お答えをいたします。

まず、令和3年度の合併浄化槽の普及率でございますが、実績といたしましては56.7%の普及率になっております。

それと、議員がおっしゃられた汚水処理計画に基づいての計画なんでございますが、まず、今回は令和6年度までには68%を目指しておるんですが、最終的には令和17年度に100%になるような計画を策定しておりますので、それに向けて努力しておりますところでございます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 長尾議員。

○3番（長尾隆資君） ありがとうございます。

令和17年度は100%、達成できたら非常にすばらしい水の環境になると思います。ぜひ我々も協力してまいりますので、共に目標を達成すべく頑張っていただきたいと思います。こちら協力したいと思います。ありがとうございます。

以上になります。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

瀬戸議員。

○5番（瀬戸直一君） 建設課関係でお尋ねいたします。

宅地造成事業で、第一読会で町内の不動産業者に仲介依頼を3件ぐらいしてるとお

っしゃいました。それで、町外の業者に広告を掲載するというようなことはないんでしょうか。

それと、SNSで発信するというようなこともないのか。これから先、これ今売れてない状態なんで、どうしていこうと思ってるのか、ちょっとお聞かせください。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 宅地の分譲についてのご質問でございますが、現在は、第一読会でもご説明させていただきましたように町内に事務所登録がある不動産業者及び宅地建物取引業者のほうに依頼をしておるといった状況でございます。今後、今私の中で思っておるのが、年内ぐらいをめどとして販売の状況が進まないようであれば、また町外の不動産会社のほうにも依頼を進めていきたいなというふうには考えております。

それから、SNSを使ってっていうようなことも言われておりましたが、町のツイッターのほうでも発信はさせていただいておりますが、定期的にもそういった情報というものも上げていけたらというふうにも考えております。

以上でございます。

○5番（瀬戸直一君） 結構です。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、以上で総括質疑を終了いたします。

議事の都合により休憩とします。

午前10時22分 休憩

午前10時39分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りいたします。

本件を第三読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。本件は第三読会に付すことに決定いたします。

これより第三読会開きます。

認定第1号について、討論と採決を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○議長(松田貴志君) 賛成者多数と認めます。したがって、認定第1号、令和4年度勝浦町各会計歳入歳出決算の認定については原案のとおり認定することに決定いたしました。

~~~~~

○議長(松田貴志君) 次に、日程第3、議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算(第5号)について及び日程第4、議案第2号、令和5年度勝浦町介護保険特別会計補正予算(第1号)についてを一括して議題とします。

これより第二読会を開きます。

第二読会における議員間の自由討議を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議なしと認めます。

それでは、これより総括質疑を行います。

議案第1号と議案第2号は関連がありますので、合わせて質疑はありませんか。

質疑はありませんか。

質疑はありませんか。大丈夫ですか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 質疑なしと認めます。

以上で総括質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

本件を第三読会に付すことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議なしと認めます。本件は第三読会に付すことに決定いたします。

議案第1号及び議案第2号を一括して討論と採決を行うことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 異議なしと認めます。本件を一括して討論と採決を行うことに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松田貴志君) 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○議長(松田貴志君) 賛成者多数と認めます。したがって、議案第1号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算(第5号)について及び議案第2号、令和5年度勝浦町介護保険特別会計補正予算(第1号)については原案のとおり可決いたしました。

~~~~~

○議長(松田貴志君) 次に、日程第5、議案第3号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算(第6号)についてを議題とします。

これより第一読会読解を開きます。

野上町長から本件の趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長(野上武典君) それでは、本日追加提案をさせていただきました議案の提案説明をさせていただきます。

議案第3号、勝浦町一般会計補正予算(第6号)についてであります。

補正額につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,337万8,000円を

追加し、歳入歳出予算の総額を40億8,661万8,000円とするものでございます。

詳細につきましてはそれぞれ担当課長から説明をいたさせますので、ご審議いただき、ご決議賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（松田貴志君） 町長の説明が終了しました。

続いて、関係各課長から詳細説明を求めます。

まず、議案第3号の全体説明について、中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 議案第3号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第6号）について全体を説明させていただきます。

第1表歳入歳出予算補正でございます。

歳入の部、15款県支出金、2項県補助金152万円、19款繰越金、1項繰越金1,185万8,000円、補正歳入合計1,337万8,000円でございます。

続きまして、歳出の部でございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、補正額253万6,000円、12款予備費、1項予備費1,084万2,000円、補正額歳出合計1,337万8,000円。

補正後の額といたしまして、歳入歳出それぞれ40億8,661万8,000円でございます。

予備費でございますが、1,084万2,000円の内訳といたしまして、台風7号による災害時の測量設計2件、それから応急処置1件に対応するものでございます。

以上、全体の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第3号について、長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 議案第3号、令和5年度勝浦一般会計補正予算（第6号）について詳細説明をさせていただきます。

歳出、4款1項1目保健衛生費の高齢者インフルエンザ定期接種促進事業でございます。目的は、高齢者のインフルエンザ予防接種に係る自己負担金の助成を行い、ワクチン接種を促進することにより新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行による高齢者の重症化予防及び医療費の負担の軽減、また高齢者の経済的負担の軽減を図るものです。

事業内容は、新型コロナウイルスが感染症法上5類に引下げになり、感染症対策が緩和され、初めてインフルエンザの流行時期を迎えます。このたび県の9月補正予算で高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担金、金額1,600円のところ半額の800円を

県が助成することになりました。これに伴い、医療機関へ支払うインフルエンザ委託料の単価が増額するため、800円に65歳以上の1,900人分を加算した152万円を補正するものでございます。接種回数は1回で、期間は10月1日から1月15日までに接種を受けた方が対象となります。

続きまして、同じく4款1項1目保健衛生費でございます。

目的としましては、子供及び妊婦に対してインフルエンザ予防接種に係る自己負担金の助成を行い、ワクチン接種を促進することで高齢者の重症化予防や医療費負担の軽減、また経済的負担の軽減を図るものです。

事業内容は、先ほど説明しました県の9月補正予算事業を活用した高齢者のインフルエンザ定期接種促進事業の効果をより高めるため、集団生活を行い、感染拡大のおそれがある子供や重症化リスクのある妊婦にインフルエンザ予防接種に係る自己負担金を助成し、接種を促進するものでございます。対象者は、生後6か月から18歳及び妊婦の540人で、13歳未満は2回接種を見込んでおります。対象期間は、10月1日から1月31日までに接種を受けた方で、申請期間は令和6年3月31日までとしております。助成額は、1回目が2,000円、対象者350人、2回目が1,000円で対象者220人、合計92万円と、印刷代や通信運搬費等9万6,000円を合わせて、合計約101万6,000円をお願いするものでございます。

以上、福祉課から詳細説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

議案第3号について質疑はありませんか。

花房議員。

○6番（花房勝一君） 議案第3号について質問させていただきます。

ちょっと僕知識がないから教えていただきたいんですが、高齢者のほうなんですけど、当初予算で3,625円掛ける1,900円、今回プラス800円ということで、自己負担額の1,600円のうち半額の800円ということなんですけど、ここは金額のちょっと説明、当初予算でどこまでの補助をしようと、今回半額っていうのがちょっとよう分からんので、そこらの説明をお願いします。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 高齢者のインフルエンザのワクチンの接種に関しましては、徳島県のほうで広域化をしております。それで、インフルエンザに係る委託料としましては5,225円かかっております。そのうちの今は1,600円を本人が負担しております。町のほうでは医療機関に3,625円をお支払いしております。

このたびの県の補正で、ここの自己負担分を、半額の800円を県が負担するということになりましたので、委託医療機関へ支払う分が800円ちょっと上乗せされるということで補正をするものでございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○6番（花房勝一君） もう一点、そしたらこの実施内容が勝浦病院で集団接種ということと、あとは広域医療機関での個別接種委託料の支払いということで、支払い方法というのはどのようになるんですか、これは。

○6番（花房勝一君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 勝浦病院のほうも含め、医療機関のほうから直接役場のほうに請求がございまして、それに基づいて支払いを行います。

○福祉課長（長友清美君） 花房議員。

○6番（花房勝一君） それで、窓口で受けられた方というのも、そのときに800円だけ負担すればいいという。

○福祉課長（長友清美君） 高齢者についてはそうでございます。

○6番（花房勝一君） ありがとうございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ついこの間まで6回目のコロナワクチンを多分接種しよったと思うんですが、もう10月からインフルエンザとコロナのワクチン両方受けれるってことです、コロナはいつから、7回目というんか、1回目というんか、どうなんでしょう。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） コロナワクチンとインフルエンザワクチン、同時接種も可能ということなんです、集団のほうの勝浦病院のほうに関しましては、ちょっと別々の日を設けて接種をするようにしております。

インフルエンザのほうは11月からということで予定しております。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） コロナは何月から、ごめんなさい、始まりは何月から。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） コロナのほうも秋接種ということで、10月を予定させております。10月に2回設けております。

○7番（美馬友子君） 分かりました。

そしたら、勝浦病院でなかったら、広域のほうに行ったら同時接種してくれる病院もあるっていうことやな。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 病院によったらそういうところもあるかとは思いますが。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 続いて、子供さんと妊婦さんのインフルエンザワクチン接種についてを聞きます。

効果拡大のために一般財源からって、すごくいい提案かなあって喜んでおります。子供たちとか妊婦さんの支払いは、また高齢者とは別なんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 勝浦病院のほうに関しましては、この実費の分だけをお支払いしていただけることで接種は可能なんですけど、別の勝浦病院以外のところに関しましては償還払いということで、領収書を持ってきていただいて後日支払いということになります。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） その点はしっかりと広報していただけるということで理解しております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（松田貴志君） ほかに質疑はありませんか。

福井議員。

○2番（福井裕美君） すみません、よろしくお願ひします。

妊婦さんがワクチン接種するんですね、歯科の治療でも、飲み薬でさえも妊娠中ってすごい警戒するんですけども、こんなんするんですね、この頃、すみません、ち

よっと質問ですが。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 妊婦さんにつきましては、やはりなかなか薬が飲めなかったりというようなこともあると思いますので、事前に予防注射をしていただいて予防していただけたらというような考えでしております。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） お願いなんですけれども、ワクチンの副作用ありますので、自己責任っていうのをしっかり広報に載せてほしいと思います。ワクチン打ってもかかるものはかかるので、私は個人的には反対派の人間なんです。副作用もたくさんありますので、こういう手厚くしてくれるのもいいんですけど、すみません、私の意見なんですけど、免疫力なんですよね、個人の、手厚くしてくれるとそれに自動的に飛びつく人が多いんですよね、ああ、行こうっていうふうに、結構なんですけども、住民の皆さんにはしっかりこのリスクを考えてほしいと私は思っております。

アナウンスを、こういうあれもあるので、同意の判ことかもあるんですけども、ワクチン接種にあるんですけども、ご本人でしっかり判断されてくださいというのをしっかりアナウンスをしてください。よろしくお願いします。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 子供さん及び妊婦さんということに関しては任意接種ということなので、本人さんの希望により接種するということになっておりますので、またそういう面も踏まえて、先ほどお伝えしていただいたようなことも、中には記載するようなところもあるかと思っておりますので、また周知というか、パンフレット等の中、またちょっと確認をしておきたいと思っております。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

以上で詳細質疑を終了します。

お諮りいたします。

議案第3号を第二読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。本件は第二読会に付すことに決定いたします。

これより第二読会を開きます。

第二読会における議員間の自由討議を省略いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。

それでは、これより総括質疑を行います。

議案第3号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

以上で総括質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

議案第3号を第三読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、本件は第三読会に付することに決定します。

これより第三読会を開きます。

議案第3号について討論と採決を行うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、討論と採決を行うことに決定します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

（賛成者起立）

○議長（松田貴志君） 賛成者多数と認めます。したがって、議案第3号、令和5年度勝浦町一般会計補正予算（第6号）については原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第6、同意第1号、勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

これより第一読会を開きます。

野上町長から同意第1号の趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君） 同意第1号、勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

次の者を勝浦町固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

住所は、勝浦町大字三溪字檜淵8番地1、氏名、小坂守、生年月日、昭和16年9月17日でございます。

以上、ご審議の上、ご同意くださいますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（松田貴志君） 町長の説明は終わりました。

お諮りいたします。

本件については、従来の慣例に従い第二読会を省略し、直ちに第三読会において採決することにしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。

本件は第三読会に付することに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

この採決は起立によって採決を行います。

本件について原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

（賛成者起立）

○議長（松田貴志君） 賛成者多数と認めます。したがって、同意第1号、勝浦町固定資産評価審査委員会委員の選任については原案のとおり同意することに決定しまし

た。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第7、議員派遣についてを議題とします。

お諮りいたします。

議員派遣については、お手元に配付のとおり派遣することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。したがって、本件は原案のとおり派遣することに決定しました。

それでは、令和5年勝浦町マラソン議会9月議会の閉会に当たり、野上町長からご挨拶をお願いします。

野上町長。

○町長（野上武典君） 閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

本会議に提案いたしました議案につきまして慎重にご審議いただき、ご決議賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。また、人事案件につきましてもご賛同のご決議をいただき、誠にありがとうございます。

9月20日、徳島新聞の1面、表紙に昨秋発掘された世界最古の亀類アドクス属の化石が発見されたと衝撃的なニュースが掲載されておりました。同時に恐竜化石も3点見つかっていて、今後まちづくりに恐竜化石と併せてこういった化石も生かしていきたいと思っているところでございます。議員の皆様におかれましては、今後とも町勢発展のために格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

今季節の変わり目でもございます。くれぐれも健康にご留意されまして、ますますご活躍されますことを心からお祈り申し上げ、閉会に当たりましてのお礼のご挨拶といたします。お世話になりました。

○議長（松田貴志君） 以上で9月会議の日程は全て終了いたしました。

これにて散会いたします。

午前11時06分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員